

国見町CI

(コーポレート・アイデンティティ)

ロゴデザイン

ご提案



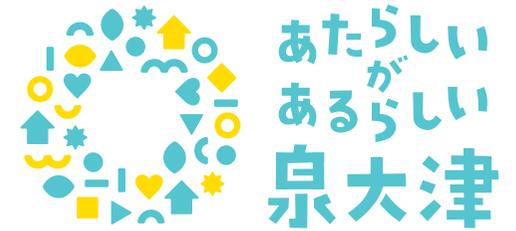
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

- ▶「まちづくりシンクタンク」として創業、地方自治体のまちづくりをご支援して令和6年で**60周年**。
- ▶全国各地域の主要都市に展開、全国自治体のうち**79.7%**の実績を誇る。
- ▶シティプロモーションや観光PR、ブランド創出、移住定住促進PRなどの**クリエイティブ事業**と総合計画や産業、観光、福祉、教育、環境、防災など多分野の調査や計画策定を支援する**コンサル事業**を合わせ持つことが特徴。



当社の紹介



MI

(マインド・アイデンティティ=方針)

- 1 福島盆地と阿武隈川水系の恵みをずっと大切に。
- 2 先人たちが育んできた土壌を次世代へ。
- 3 この土地に集まる多様な価値観を受け止めよう。

町民全員で共有して、追い求めるべき、町の姿や町民の在り方

BI

(ビヘイビア・アイデンティティ=行動指針)

- 1 ここにある自然の恵みを産業で表現しよう。
- 2 次世代を担う人々が学ぶ環境を守ろう。
- 3 自分らしくいられる居場所を自分たちの手で創ろう。

MIに基づいて、どのように行動すべきかを示す

MI ▶ BI

V I

(ヴィジュアル・アイデンティティ=ロゴマーク)

視覚的に表現するもの

1 福島盆地と阿武隈川水系の恵みをずっと大切に。

→ここにある自然の恵みを産業で表現しよう。



肥沃な大地や水がもたらす恵み
米、もも、りんご、柿などの農業や
地域食材を活用した飲食店など人々の営み

水や土、
恵み、実り

2 先人たちが育んできた土壌を次世代へ。

→次世代を担う人々が学ぶ環境を守ろう。



阿津賀志山を背景に源義経伝説が残る
伝統ある祭りや文化が今に受け継がれ
多世代が学べる取り組みが盛ん

つながり、
心、絆

3 この土地に集まる多様な価値観を受け止めよう。 →自分らしくいられる居場所を自分たちの手で創ろう。

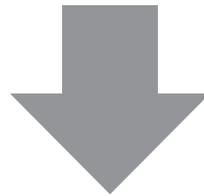


道の駅国見あつかしの里や複合施設、
働く場所、新しいイベントなど
地域の交流拠点やコミュニティが生まれる

**多様性、調和、
新しさ**

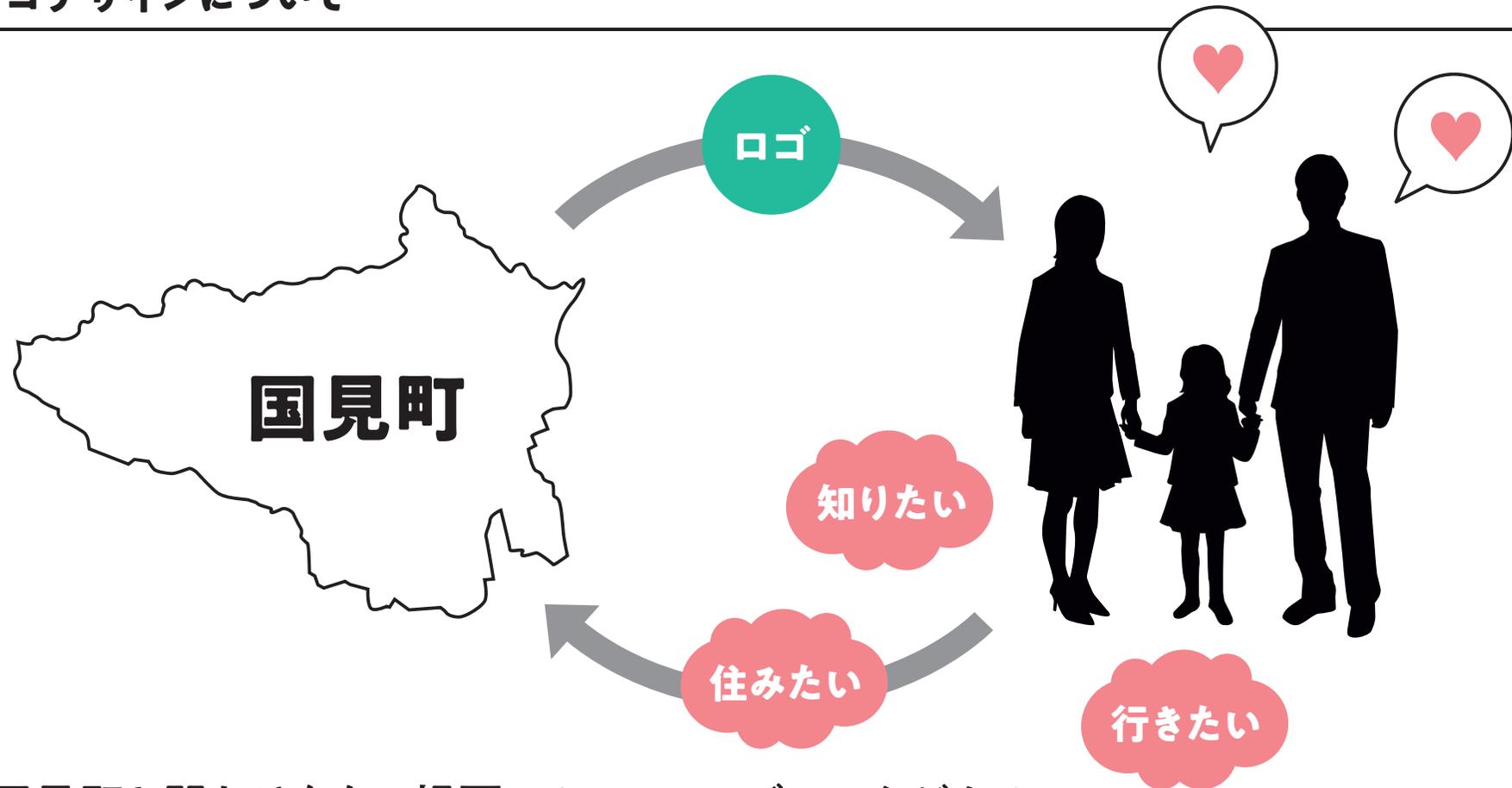
国見町CIの目的

- ①国見町の認知度を上げ、国見町の価値を高める
- ②他市町村との違いを明確にし、差別化を図る
- ③国見町は住み良い町、住みたい町といった信用と信頼を得る
- ④行政と民間の協働による積極的な情報発信を進める



**「CI策定・ロゴマーク作成＝目的達成」が
実現できるわけではありません**

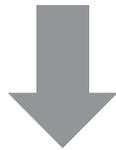
ロゴデザインについて



- 国見町と関わりをもつ場面において、ロゴマークがある。
- 多くの人が目にする機会、活用する機会をみんなでつくる。
- 次第にロゴマークを見ると「国見町」と認知し、町の良好なイメージも想起できる。
- 「知りたい」「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思ってもらうことが国見町のCIがめざすべきゴール

どのような人が、どのような場面で 国見町と関わりをもつのか

- 国見町で働いたり、国見町で暮らす人
- あらゆる年齢、性別、国籍の人
- 町外から訪れた人
- 町出身だが、町外に出た人
- ネットやSNSで町のことを検索した人 など
- 祭りやイベントに参加した時
- 買い物したり、仕事や観光で訪れた時
- 行政サービスを受けた時
- 町にいる知人や友人を訪ねた時
- ネットやSNSで町のことを検索した時 など



あらゆる属性の多様な人



生活や来訪などあらゆる場面

このような場合に求められる視覚表現とは

- ▶ 大人から子どもまでだれが見てもわかりやすい表現
- ▶ あらゆる場面、媒体で親和性の高いシンプルな表現
- ▶ 国見町らしさが感じられる表現



誰もが「描ける!」デザイン

これから先、CIの理念を受け継ぎ、継続して発信していく担い手となる子どもたちが、一目で覚えることができ、自分で描けるデザインをめざします。



国見町

ロゴデザインについて

国見町の「く」、
阿津賀志山を
モチーフに

人々のつながりや
調和、多様性をイメージして
やわらい印象に

3つの理念を
表現した色で彩る



形状としては、「く」を残しながらも、
3つの理念(MI・BI)から想起される形や色で表現。
「矢印」のような形状にも見え、未来の国見町を指し示す旗印となる。

「高齢者から幼児までが一目見て覚えられる」 「自分で描ける」ぐらいのシンプルな造形に

本来、VIは厳格な設計のもと、造形にブレが出ないようにすることが一般的。

しかし、本ロゴマークは使う人によって違いが出てても認知できる造形に。

自分で描いたり、作ったりするなど、多くの方に親しんでもらえることをめざす。



ロゴデザインについて



国見町



くにみ町



KUNIMI



国見町



国見町



国見町



国見町



国見町

ロゴデザインの使い方



企画調整課 過疎対策係
国見 太郎
Taro Kunimi

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
Email kunimi@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



国見町

企画調整課 過疎対策係
国見 太郎
Taro Kunimi

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
Email kunimi@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



国見町



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>

ロゴデザインの使い方



企画調整課 過疎対策係
国見 太郎
Taro Kunimi

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
Email kunimi@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



企画調整課 過疎対策係
国見 太郎
Taro Kunimi

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
Email kunimi@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



国見町

企画調整課 過疎対策係
国見 太郎
Taro Kunimi

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
Email kunimi@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



国見町

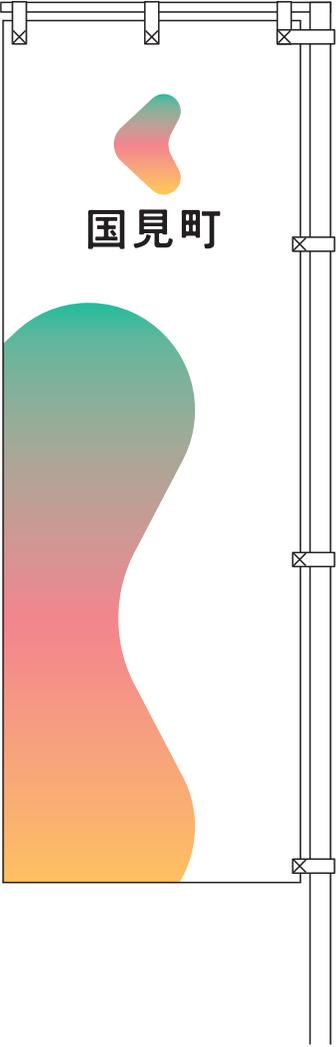
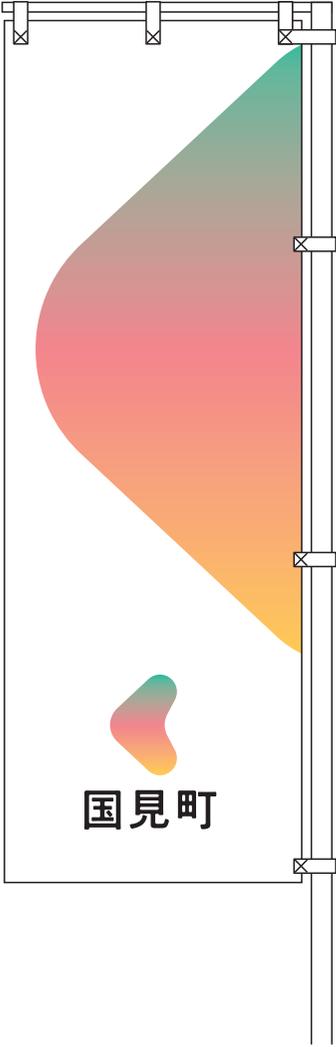
〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2111
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp>

ロゴデザインの使い方



ロゴデザインの使い方





**国見町の理念のもと
このロゴマークが
まちの目指すべき
旗印となりますように。**